

大和屋 設計・施工マニュアル

－ホワイトスプルス三層建具－

設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 本製品は天然木を利用した商品であるため、1枚1枚全て木目や色味の濃淡が異なります。サンプル・カタログの色の違いは、自然木ゆえの特徴ですのでご了承ください。
- 本製品は一般住宅屋内専用です。浴室や玄関、屋外、商業施設等では使用しないでください。
- 冷暖房機器や空調設備の風が継続して直接当たると、過度の乾燥による収縮や割れ等の原因となりますので、設計上ご配慮ください。
- 本製品は無塗装品となっております。塗装をすることをおすすめします。また、塗装する際は必ず裏表共に同じ塗装を施してください。片面のみの塗装は反りなどの不具合の原因となります。

施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- 本商品は完成品です。運搬、荷卸し、施工の際にはキズや打痕、汚れ等には十分注意してください。
- 取扱いの際に手が汚れていると手跡がついて消えにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- ドアは乾燥度が高いため、枠を取り付ける下地材は出来る限り乾燥材、または集成材を使用することを推奨します。
- 本製品は無塗装品となっております。塗装をすることをおすすめします。また、塗装する際は必ず裏表共に同じ塗装を施してください。片面のみの塗装は反りなどの不具合の原因となります。
- 建築完了までダンボール等で本体および枠への養生を推奨します。養生の際には本体および枠に直接粘着テープを貼らないでください。(粘着剤が残る可能性があります。)
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。

用意するもの

- スペーサー（乾燥した合板など）

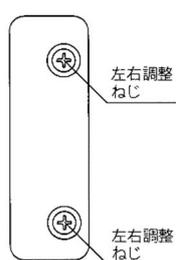
施工の手順

●開き戸

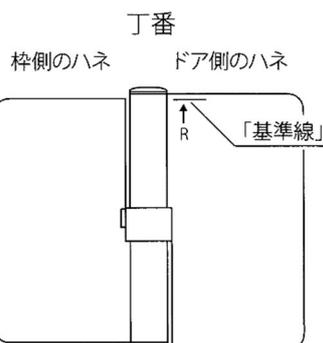
①外枠を組み立て、スペーサーを利用して開口部への取り付けを建て入れの確認をしながら行ってください。取り付けの際には上枠と縦枠が水平垂直になっていることを確認してください。

②丁番の取り付け

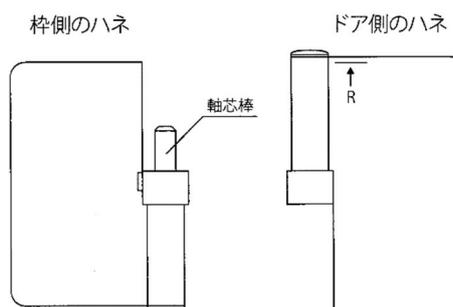
左右調整プレート
枠に取り付けてあります。



左右調整ねじ
吊元側に2.5mm
開き側に2.5mm
ドアを移動できます。

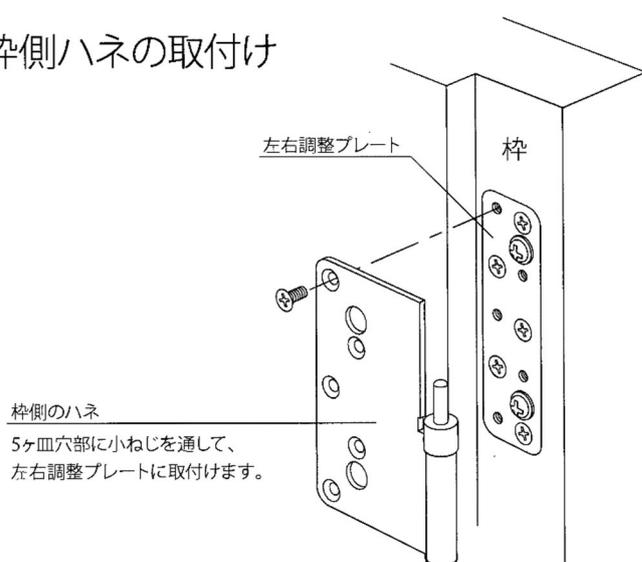


枠側のハネの上辺が、ドア側のハネに示してある「基準線」の位置にあることを確認してください。その場合に、各2.5mmの上下調整が可能となります。「基準線」からずれている場合は、上下調整ねじで位置修正をしてください。



上下調整ねじ
上下各2.5mm
ドアを移動できます。

枠側ハネの取付け



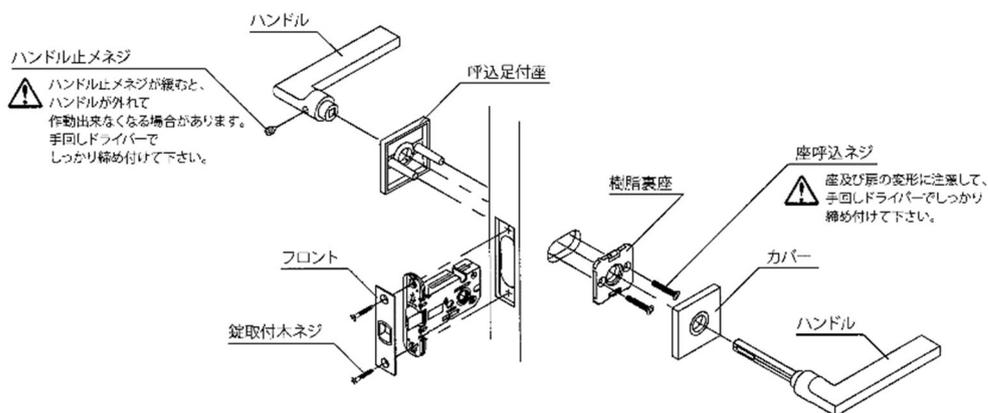
③レバーハンドルの取り付け

[レバーハンドル錠]

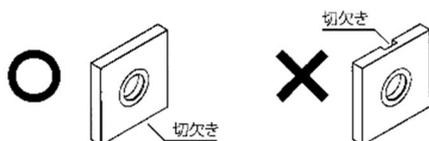


電動ドライバーは使用しないで下さい。

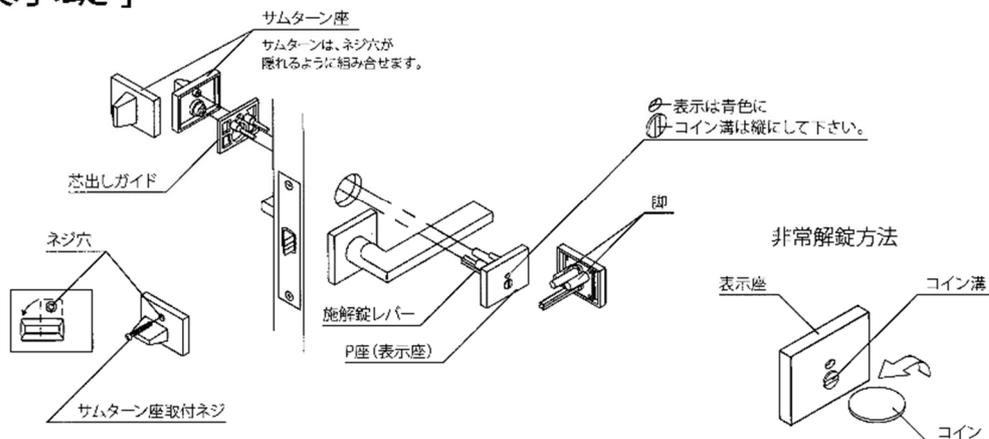
- ・ネジの締め過ぎによりハンドルに傷を付ける、ネジをこわす、座の変形、扉のヘコミによる作動不良などを起します。
- ・ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いずれ外れてしまい、重大な事故へつながります。
- ・責任施工を行い、トラブルの無い様ご注意ください。



座カバーの切欠きの向きにご注意下さい。
切欠きが下側になるように取り付けて下さい。



[表示錠]



組合せ後、サムターンを回し、ネジ穴にサムターン座取付ネジを通し、固定します。

表示座のコイン溝にコインを差込み扉の戸先方向に回転させます。

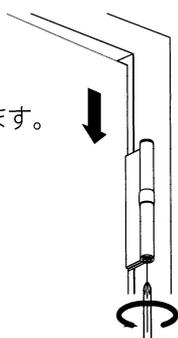
④上下2ヵ所の丁番の軸心棒を確認しながらドア本体を吊り込んでください。

⑤取付完了後は必ず動作確認を行い、正常な動きを確認してください。

※調整が必要な場合には下図の通り調整を行ってください。(上下左右、最大2.5mm)

[調整方法]

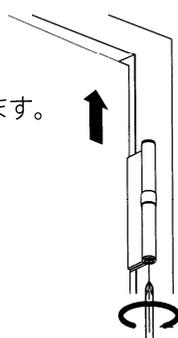
上下調整ねじを
左に回すと、ドアが下がります。
最大2.5mm



手順

- ①「下の丁番」の上下調整ねじを、
予め左に回しておきます。(調整寸法以上)
- ②「上の丁番」の上下調整ねじを、左に回しながら
ドアを下げていきます。
- ③位置が決まったら、「下の丁番」の上下調整ねじを
右に回して、所定の位置まで戻します。

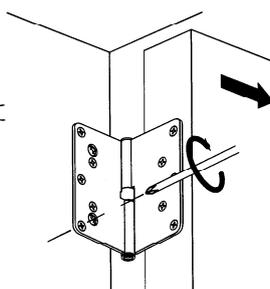
上下調整ねじを
右に回すと、ドアが上がります。
最大2.5mm



手順

- ①「上の丁番」の上下調整ねじを、
右に回しながらドアを上げていきます。
- ②位置が決まったら、「下の丁番」の
上下調整ねじを右に回して、
所定の位置まで上げていきます。

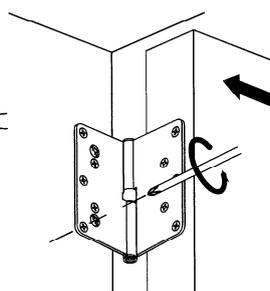
左右調整ねじを
左に回すと、ドアが開き側に
寄っていきます。
最大2.5mm



手順

- ①枠側ハネの固定ねじを緩めておきます。
- ②左右調整ねじを左に回して、
ドアを開き側に移動します。
- ③位置が決まったら、緩めておいた
固定ねじを緩めます。

左右調整ねじを
右に回すと、ドアが吊元側に
寄っていきます。
最大2.5mm



手順

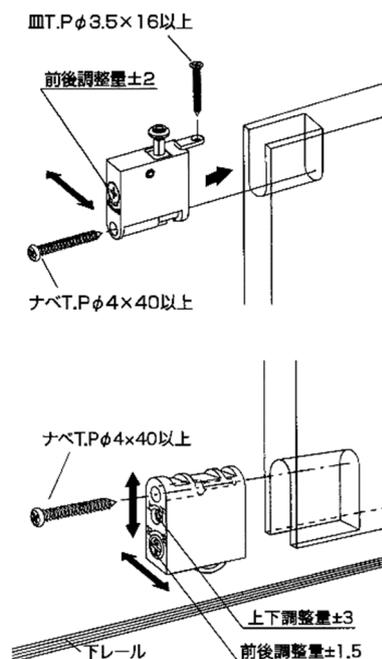
- ①ドアを移動させたい分量まで、
左右調整ねじを右に回しておき
- ②枠側ハネの固定ねじを緩めると、
ドアは吊元側に移動します。

●片引き戸

①外枠を組み立て、スペーサーを利用して開口部への取り付けを建て付けの確認をしながら行ってください。取り付けの際には上枠と縦枠が水平垂直になっていることを確認してください。

②上枠の欠き込みに合わせて中方立を垂直に固定してください。 [戸車]

③戸車をドア本体の木口加工部分に取り付けてください。



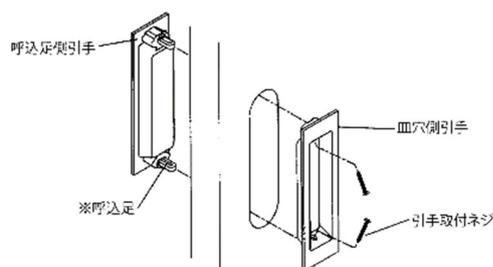
④ドア本体に引手を取り付けてください。

[空錠引手]



電動ドライバーは使用しないで下さい。

- ・引手取付ネジは、引手に変形しないように注意し、しっかり締め付けて下さい。
- ・引手が浮いた状態にならないよう呼込足側と皿穴側の両方の引手をしっかりとドア面に押さえた状態で引手取付ネジを締めて下さい。



⑤上レール、下レールを枠に取り付け、下ストッパーを下レールに取り付けてください。

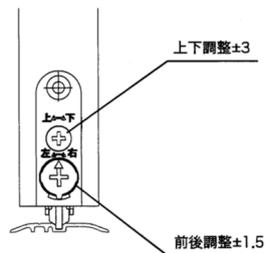
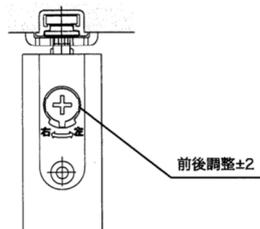
⑥上レールに戸車をはめ込むようにドア本体を吊り込んでください。

⑦取付完了後は必ず動作確認を行い、正常な動きを確認してください。

※調整が必要な場合には下図の通り調整を行ってください。

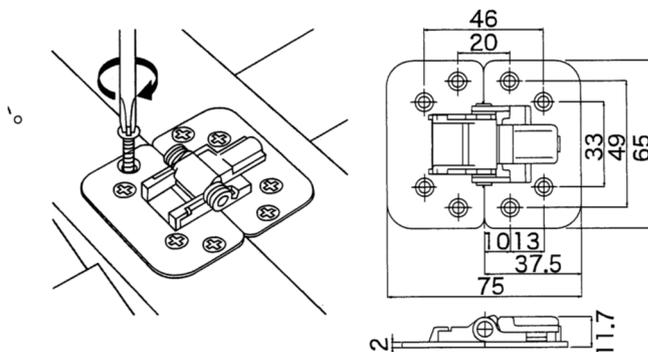
[調整方法]

扉と枠のこすれや極端な隙間がある場合、扉に反りがある場合など、ドライバー（#2）を使って戸車を調整して下さい。

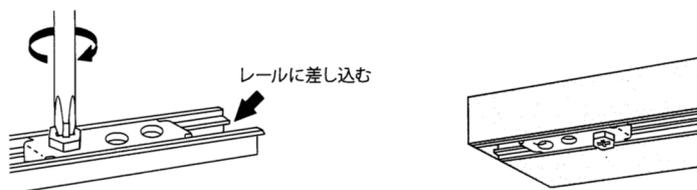


●クローゼットドア

- ①外枠を組み立て、スペーサーを利用して開口部への取り付けを建て付けの確認をしながら行ってください。取り付けの際には上枠と建枠が水平垂直になっていることを確認してください。
- ②丁番を扉の裏から3箇所取り付けてください。



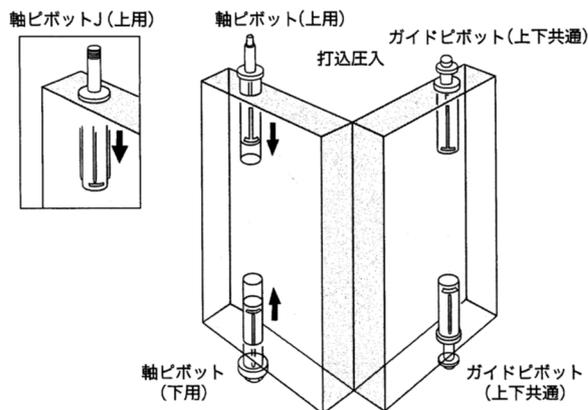
- ③ピボット受けを取り付けた状態でレールを枠に取り付けて下さい。ピボット受けの差し込み方向を間違わないようご確認ください。



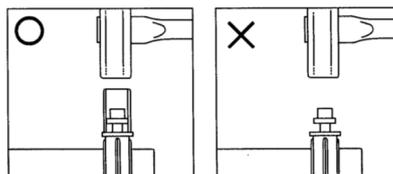
※3枚戸の場合、同じようにマグネットを差し込んで下さい。

- ④扉につまみを取り付けて下さい。

- ⑤扉にピボットを取り付けて下さい。軸ピボットは上用、下用が分かれていますのでご注意ください。ガイドピボットは上下共通です。

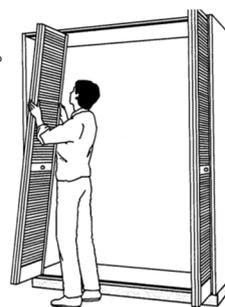
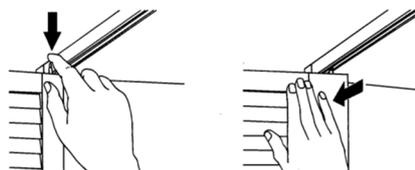


⚠️ ピボットを打込むとき、ツバ部にパイプ(打込み用スペーサー)をご使用下さい。故障の原因になります。



⑥扉を取り付けて下さい。

扉を図の様に傾けて、軸ピボット(下用)をピボット受に差し込みます。
同様にガイドピボットも下レール溝に差し込みます。
扉上部の(上用)軸ピボットを、図の様に指で押し込みながら、
ピボット受に差し込みます。
同様にガイドピボットも上レール溝に差し込みます。



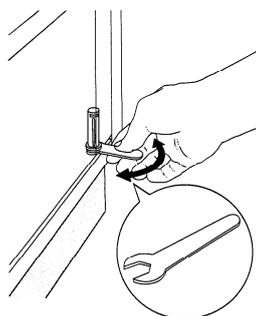
⑦取付完了後は必ず動作確認を行い、正常な動きを確認してください。

※調整が必要な場合には下図の通り調整を行ってください。

[調整方法]

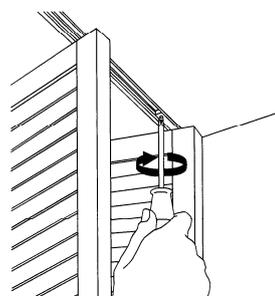
上下調整方法

軸ピボット(下用)の六角ナットを付属の六角スパナで調整します。



左右調整方法

上下レールに付いているピボット受けの固定ねじ⊕をゆるめ調整します。
又調整後、扉落下の原因になりますので固定ねじを確実に締めて下さい。



施工の後に

- 施工完了後は必ず動作確認を行い、正常な動きを確認してください。
※調整が必要な場合には上記「施工の手順」の記載に沿って調整を行ってください。
- 開閉不具合などの初期不良の可能性がある場合は、必ず周囲の壁の施工前にご相談ください。周囲の壁を仕上げてしまうと調整および交換ができないため、ご対応できませんのでご注意ください。
- 施工終了後、乾いた雑巾などで表面の木屑や埃をきれいに拭き取り、養生をしてください。
- 扉全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出すると、日焼けして色むらになってしまいます。
- 養生テープは必ず小口面へ貼ってください。扉の表面および枠に直接貼ると表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれるおそれがあります。
- 養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。
- お手入れ・メンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。

免責事項

下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

- 天然木の特徴によるもの
 - ・色違い
 - ・木目、節の違い
 - ・ヤニ
 - ・経年による変色
 - ・伸縮
 - ・軽微な反り、割れ
 - ・キクイムシなどの虫の発生
- 水濡れなどを放置して発生した染み・変色・カビ・膨れ・反り
- 日常生活によって生じたへこみ・キズ・破損・汚れ
- 構造材の動きなど本商品以外が原因による不具合
- 本マニュアルに基づかない設計、施工で発生した不具合
- ユーザーマニュアルに基づかないお手入れ・メンテナンスで発生した不具合
- 不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ
- 不適切な養生により発生したキズ・色ムラなどの不具合
- その他天災によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市末広 2-118

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：<http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/>